

科 目 名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
卒業研究: Graduation Research		5B	10	500分×30回	必修	実験・演習/通年	—
教 員 名	経営情報学科各教員						
授 業 概 要	経営・情報処理・経済・会計・数理などの分野から各教員が専門とする研究課題を提示する。その中から希望するテーマを1つ選択し研究を行う。また、学生自身が研究課題を提案し、その課題が認められれば、その課題に取り組むことができる。研究課題の自主的・継続的な遂行を通じて、問題の発見能力や問題の解決能力、研究手法、共同作業の進め方などを体得する。また、各研究グループでの発表会や学科全体の発表会を通じて、プレゼンテーション手法や研究のまとめ方などを学ぶ。						
到達目標		評価方法			評価配分		
(1) 自主的に新しい情報や知識を習得し、課題への継続的な取組ができること。		(1) 卒業研究を遂行するために必要な知識の獲得や、研究計画に関して定期的に作成したレポートで評価する。			20%		
(2) 研究の目的を理解し、研究を計画して遂行し、結果を整理して解析できること。		(2) 実験データ・資料・レポート等によって評価する			30%		
(3) 研究の目的・方法・結果・考察・結論等をまとめて、論文を作成できること。		(3) 卒業論文によって評価する。			40%		
(4) 研究成果の資料を作成して発表し、説明・説得することができること。		(4) 卒業研究発表および発表予稿集によって評価する。			10%		
学習・教育目標		(A)③		JABEE基準1(1)		(d)-(1), (g)	
項 目		内 容		項 目		内 容	
授 業 計 画	1. スケジュール				研究室名	テーマ名	
	(1) 研究準備(調査・予備実験など)(4月)				伊藤研究室	1. 企業戦略の成功要因の析出 2. 組織構造の実証研究 3. 組織に関する数理モデルの研究	
	(2) 各種調査・実験・データ整理・解析・考察など(5月～2月)				内田研究室	1. ビジネスゲームの開発 2. 教育支援システムの開発 3. オープンソース情報システムの研究	
	(3) 卒業研究発表会(2月上旬)				武藤研究室	1. Web情報の信頼性の推定 2. Twitter streaming データを用いたセンチメント解析	
	(4) 卒業論文提出(2月下旬)				松野研究室	1. 企業間連携における情報ネットワークの役割の分析 2. ISアウトソーシングに関する理論的・実証的研究	
	2. 卒業論文		卒業論文は、所定の様式に従って作成し、定められた日時までに必ず提出する。		岸川研究室	1. 公的統計を用いた産業、自治体、ソーシャルビジネスなどの実態分析 2. 複雑系理論の経済現象への適用に関する研究 3. マネジメントの分析手法、品質管理、生産管理の手法を用いた研究	
	3. 卒業研究発表		卒業研究の内容は、卒業研究発表会で必ず発表する。 (1) 卒業研究発表会は原則として公開とし、学外者、教員および経営情報学科4、5年生の多人数を対象としてプレゼンテーションを行う。 (2) 発表予稿集として、研究概要をA4用紙1枚にまとめ提出する。 (3) わかりやすい表現でプレゼンテーションを行う。		田川研究室	1. 語用論から見た財務会計システムの機能分析 2. 財務諸表情報の価値関連性分析 3. 会計基準設定者に関するネットワーク分析	
	4. 各研究室およびテーマは右欄の通りである。				朴研究室	1 情報サービス企業の経営戦略 2 情報サービス企業の企業価値評価 3 日本企業の再生戦略	
	5. 評価方法(1)のレポート作成は4月、7月、10月、12月を標準とする。ただし、研究室毎に提出時期を変更したり、提出回数を増やす場合がある。				荒川研究室	1. 人工知能 2. 統計的データ解析 3. パズルプログラミング	
	6. その他		(1) 指導教員との連絡を密にし、よく相談して研究を行う。 (2) 学生間や各研究グループ間での議論を活発に行う。 (3) 必要に応じて、中間発表会を行う。		二木研究室	e-Learningシステムの開発	
自学自習の内容		レポートを課す。					
関連科目	経営・情報・数理関連科目全体、経営情報研究ゼミ						
教科書							
参考書	各教員が提示する。また、学生自らが調査する。						
授業評価・理解度	最終回に、授業評価アンケートを行う。						
副担当教員							
備考	配属先研究室の選択について、事前に説明を行う。						